

文化とは、布のようなものだ。

生活者と活動者が交感し、紡ぐことで、新たな石岡の文化を構築してゆく。

交感 ノ 場

石岡市複合文化施設計画



1Fホワイエ内観。サブホールと連続的につながる。

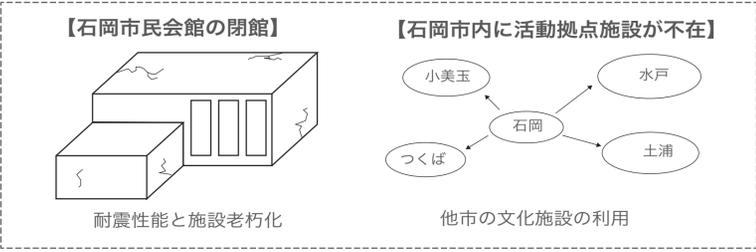
広場でマルシェが催される風景。

石岡駅のプラットフォームから広場を眺める。駅との視覚的な一体感が生まれる。

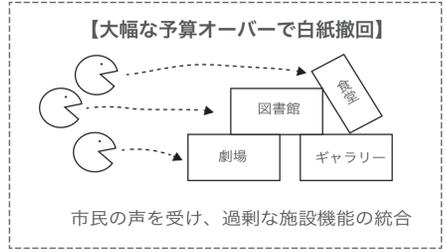
01 計画の背景

1968年3月に竣工された石岡市民会館は、施設機能の老朽化と設備更新が困難であることを踏まえて、2020年3月31日をもって閉館となった。市民会館の閉館を受け、現在、新たな「施設整備基本構想」として、基本方針の概要が策定された。石岡市民会館が閉館後、市内に文化活動の拠点となる施設がないという現状を踏まえて、主要機能としてホールを中心として、多様な活動目的に対応した複合文化施設の整備が検討されている。

01-1 石岡市に新たな文化施設の必要性



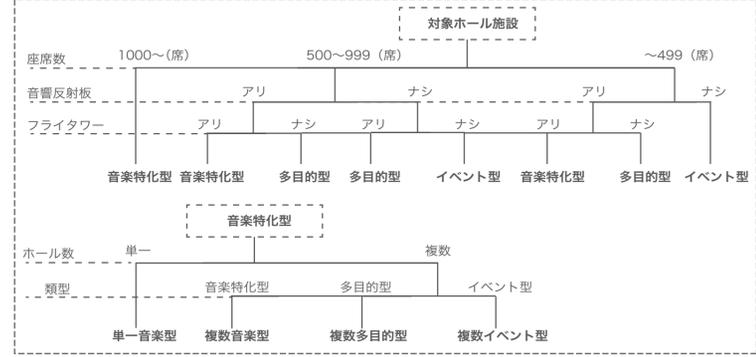
01-2 適切な機能と規模の選択



02 現代市民ホールのホールタイプの抽出

ホールを中心とする複合文化施設を計画するにあたって、ホールにおける用途・規模・機能スペックを検討を行った。そこで、現代における市民ホールのホール機能に焦点を当て利用形態についての分析を行った。その結果利用形態と機能スペックに相関関係が読み取れ、そこからホールタイプの抽出を行うことができた。結果としては、「音楽特化型」「多目的型」「イベント型」の3種が分類でき、「音楽特化型」からホール数と上記類型の参照から「単一音楽型」「複数音楽型」「複数多目的型」「複数イベント型」の計6種のホールタイプの抽出を行った。

02-1 ホールタイプ分類プロセス



02-2 6種類のホールタイプ



04 ホールタイプの選定

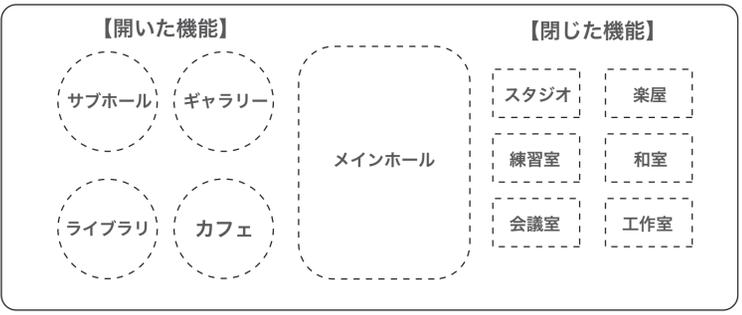
市民ホールの分析から中質したホールタイプと石岡市の市民活動調査を参照しホールタイプの選定を行った。その結果、大規模公演を目的とする「単一音楽型」と日常的な利用を目的とする「複数イベント型」を用途別に比較検討を行った。現状の石岡の中小規模な市民活動規模とこれからの人口減少を考慮して本計画においては「複数イベント型」のホールタイプを選定する。



ホールタイプ	座席数	単一音楽型	複数イベント型
		1000席 (石岡市民会館と同規模)	700席 (日常的な市民イベントを重視)
ホールスペック	フライタワー	○	○
	音響反射板	○	○
	音響・照明調整	○	○
	楽屋	○	○
	ホール数	1	2
	大規模コンサート	○	×
ホール用途	合唱コンクール	○	×
	成人式	○	○
	石岡文化祭	○	○
	合唱祭	○	○
	ワークショップ	×	○
	クラブ活動	×	○
	市民コンサート	×	○

05 複合機能の選定

本計画では、街に対して「開いた機能」と「閉じた機能」の異なる性格をもつ機能の複合を行う。「開いた機能」としては、サブホールに加え、ギャラリーやライブラリ、カフェなど、市民が日常的に利用しやすい機能を選定する。「閉じた機能」では、近隣中学校の部活動・市民活動の練習の場としてスタジオや工作室、和室の機能を選定する。



03 石岡市における文化活動の調査

【旧市民会館の利用状況の分析】

- 【1,000人規模】**
 - ・中学校の合唱コンクール・・・約950人
 - ・幼稚園による発表会・・・約900人
 - ・児童演劇鑑賞・・・約800人
- 【700人規模】**
 - ・市内小中学校音楽発表会・・・約750人
 - ・成人式・・・約700人
 - ・落語、歌謡ショー・・・約600人
- 【500人規模】**
 - ・石岡市文化祭・・・約400人
 - ・民間団体による発表会・・・約400人
 - ・映画上映会・・・約200~400人

年間利用日数：96日
ホール稼働率：31.4%
(全国の10万人未満の市営ホール平均稼働率と比較して7.6%低)

【現在の石岡市の市民活動】

- 【従来からの活動】**
 - ・石岡文化協会（いしおか子ども劇場）
 - ・石岡アート協会（各分野の展示会）
 - ・石岡市教育委員会（石岡文化祭）
- 【近年の市民活動】**
 - ・合唱団つくばおろし（市民コンサート）
 - ・Canto-Oriente（演奏ワークショップ）
- 【学校活動】**
 - ・吹奏楽部の演奏練習
 - ・文化祭・合唱コンクール
 - ・美術部の創作活動と展示

「市内中学校における文化部系部活動の設置状況」
石岡中学校・・・吹奏楽部、美術部、総合文化部
国府中学校・・・吹奏楽部、美術部
八郷中学校・・・吹奏楽部、美術部

【現在の文化施設文化整備状況】

【石岡市中央公民館】
延べ床面積：3,409㎡
座席数：594席
竣工年：1982年

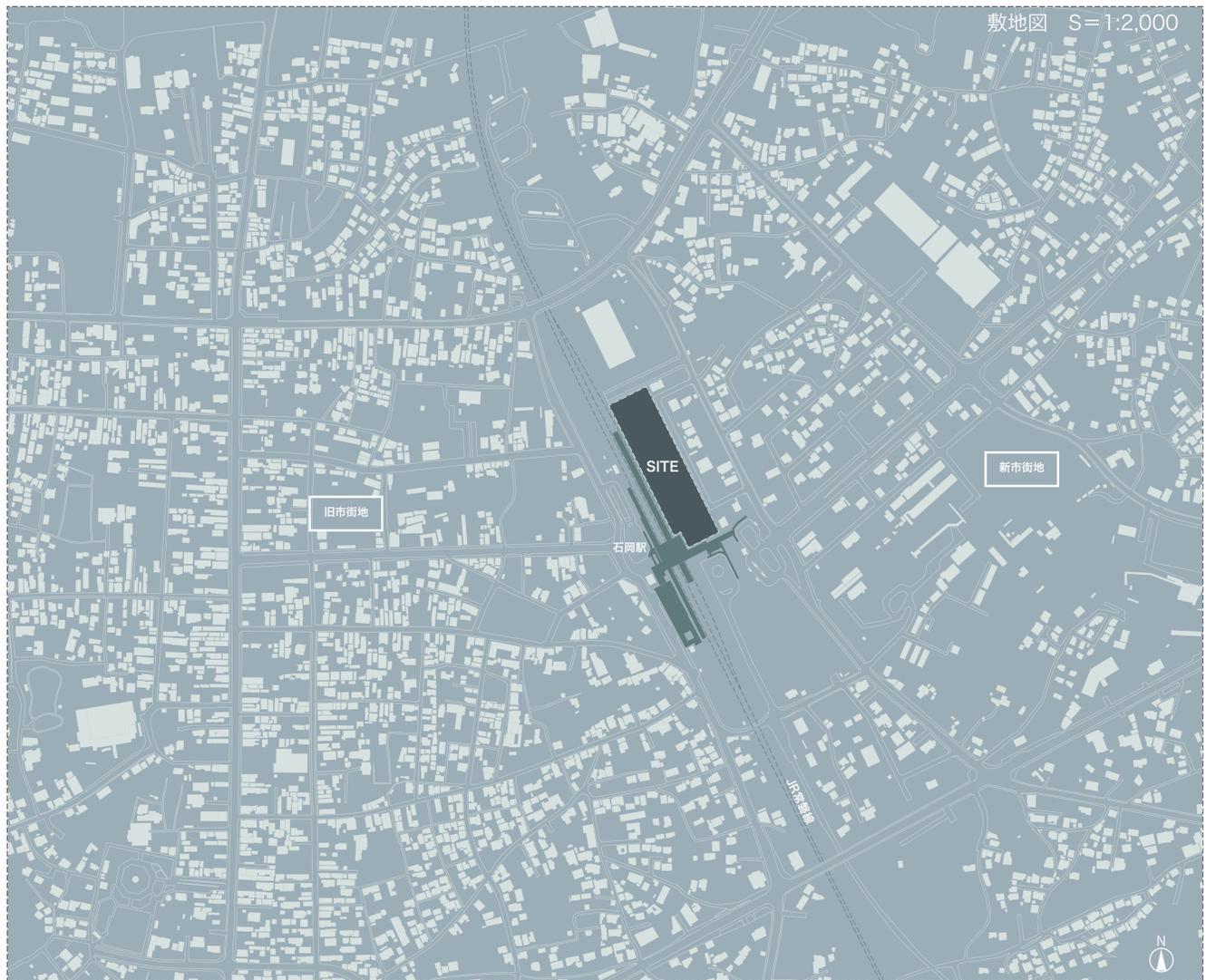


【ふれあいの里ひまわり館】
延べ床面積：5,145㎡
座席数：300席
竣工年：1999年



06 計画敷地

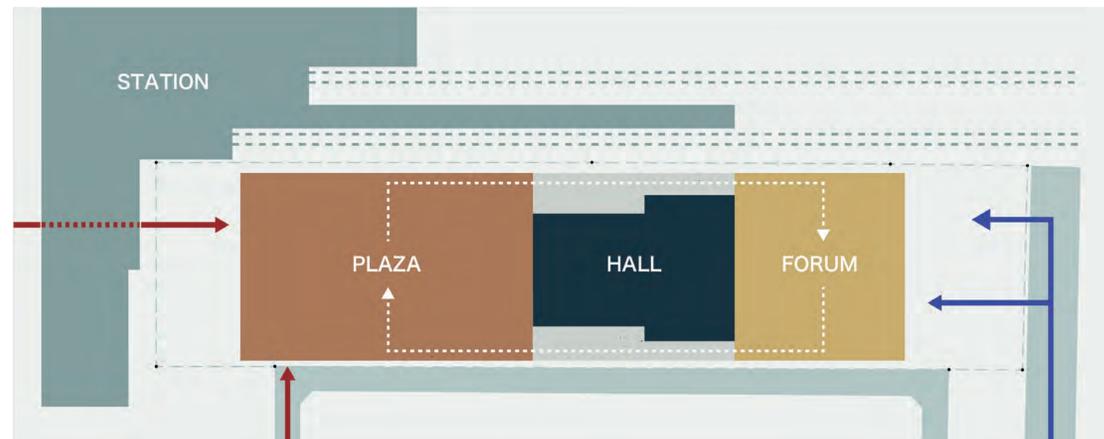
対象敷地：茨城県 石岡市 鹿島鉄道跡地 / 敷地面積：7,700㎡



07 コンセプト・ダイアグラム

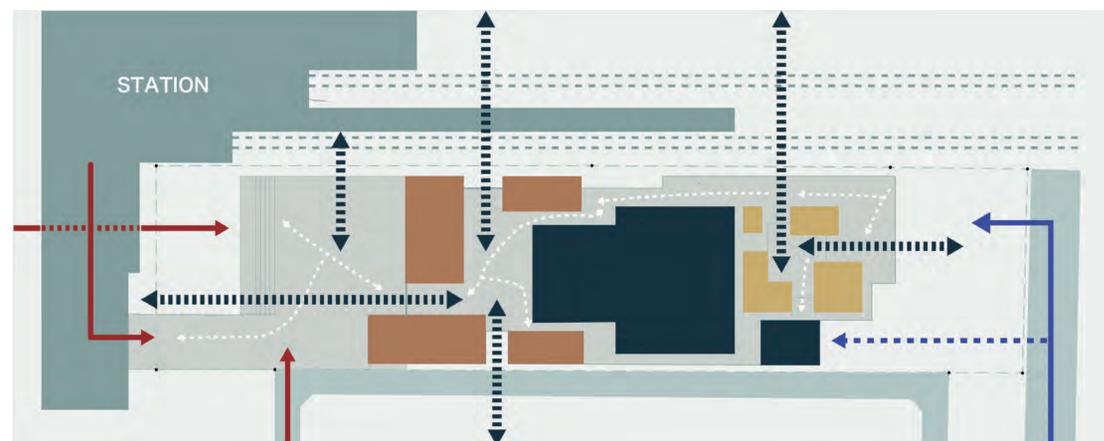
08-1 施設全体を利用できる市民ホール

本計画においては、ホールのバックヤード部分の利用に焦点を当て、施設全体をフル活用できる市民ホールを計画する。ホールを中央に配置し、広場を南北の2つに設けることによって、駅に面した活動的な性格の「プラザゾーン」と北側の個室群を配置した「フォーラムゾーン」を計画する。これにより楽屋やスタジオは練習空間として利用可能となる。

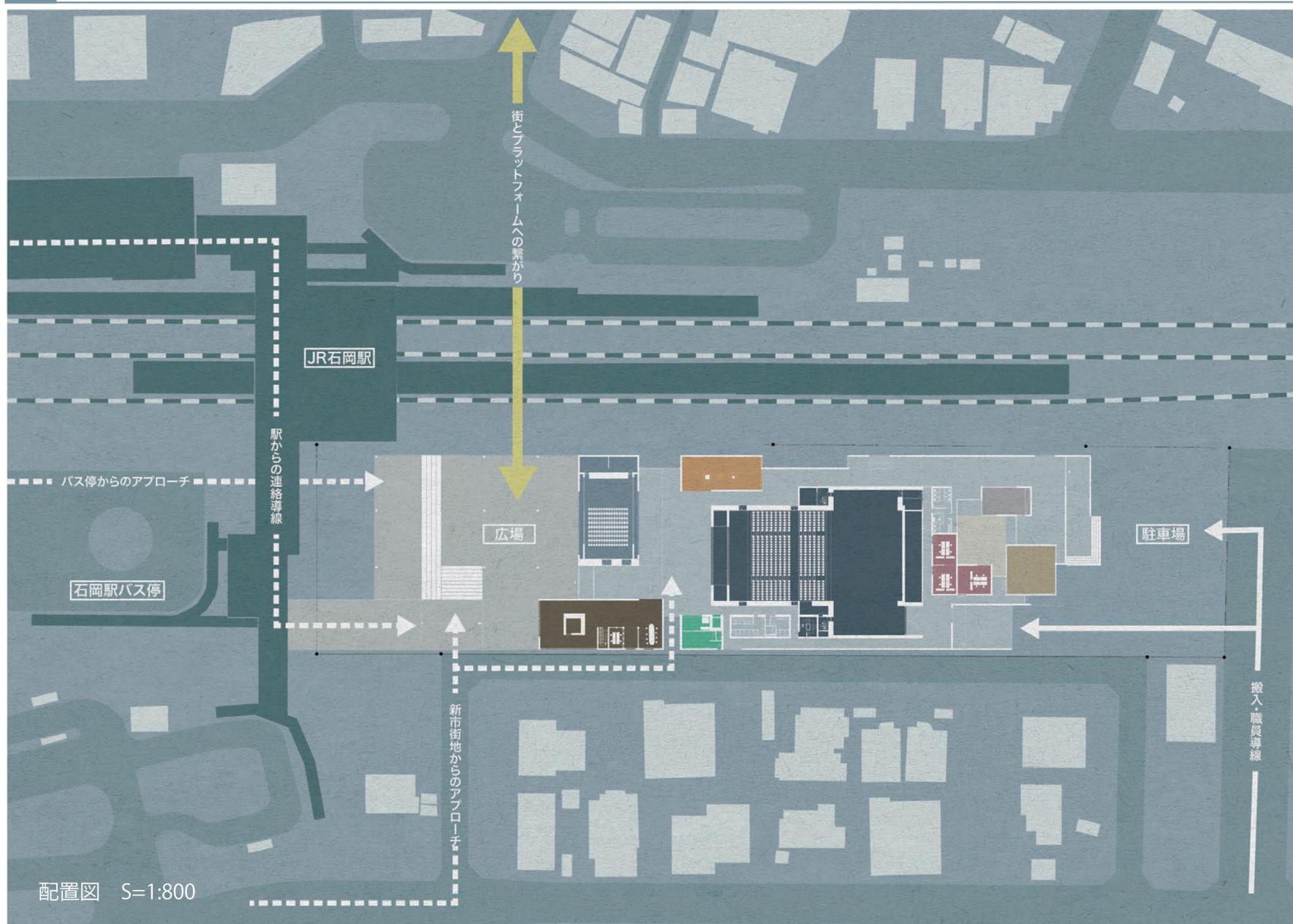


08-2 街の流れと人の動きを引き込む余白

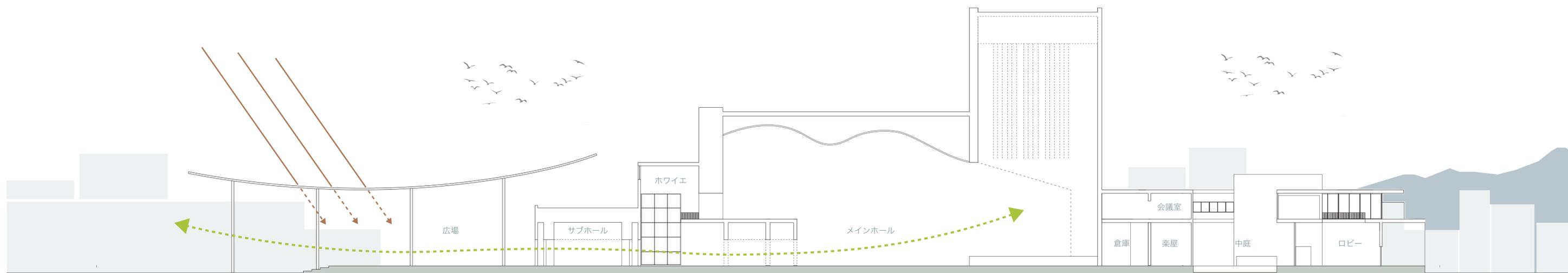
石岡の街の流れと人の動きに焦点を当て、市民ホールが「新市街地と旧市街地」、「人と人」の結節点となるような文化施設を計画する。各ボリューム間に余白を設ける事で、空間と空間との間にギャップを生じさせた。これにより、空間に人の流れが生まれ、内部の市民活動が外部の広場や街へ溢れてゆく。



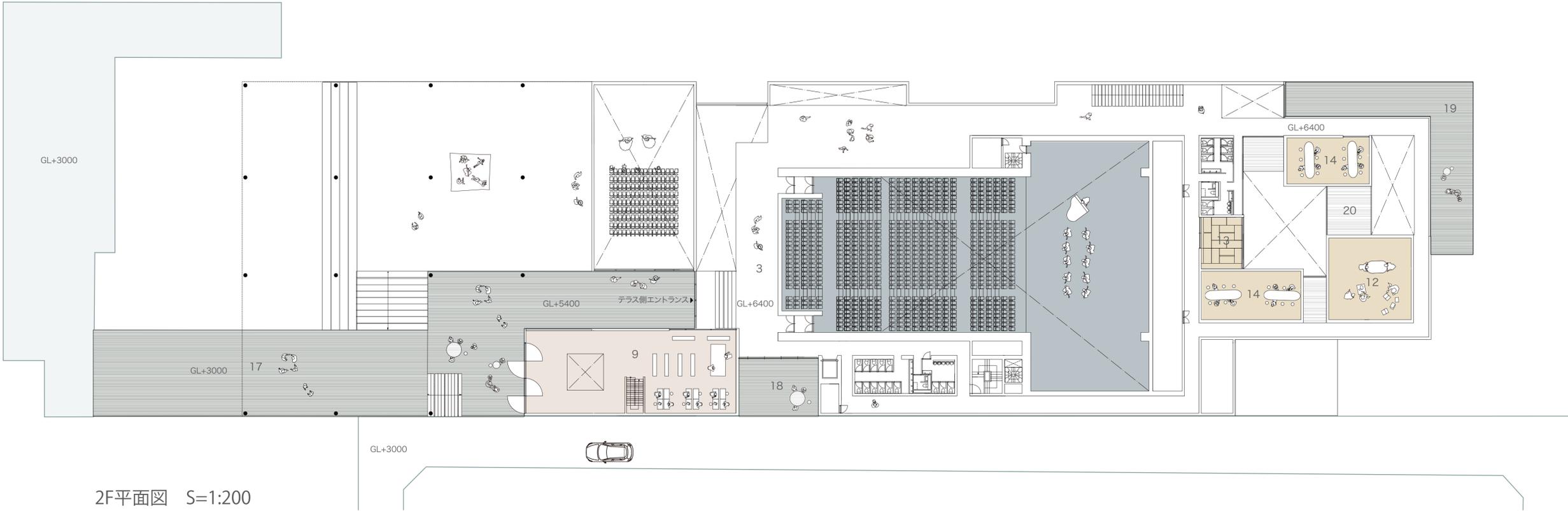
08 配置計画



09 断面計画



A-A'断面図 S=1:200



No.	部屋名	面積
1	メインホール	1000㎡
2	サブホール	260㎡
3	ホワイエ	530㎡
4	楽屋	110㎡
5	倉庫	200㎡
6	ギャラリー	110㎡
7	カフェ	140㎡
8	情報ライブラリ	110㎡
9	図書室	230㎡
10	多目的室	60㎡
11	スタジオ	100㎡
12	工房	100㎡
13	和室	30㎡
14	会議室	130㎡
15	事務室	50㎡
16	広場	820㎡
17	駅連絡テラス	730㎡
18	東側テラス	60㎡
19	筑波山テラス	170㎡
20	中庭テラス	70㎡
1階		5300㎡
2階		3030㎡
延べ床面積		8330㎡
建築面積		5380㎡

